

# Elazzio

---

## SEAT COVER



## **TOYOTA** **SIENTA**

専用シートカバー取付説明書

1615/1616

# Clazzio

---

## SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、  
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの  
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

## INDEX

…> 03-04

シートカバー装着前の注意事項

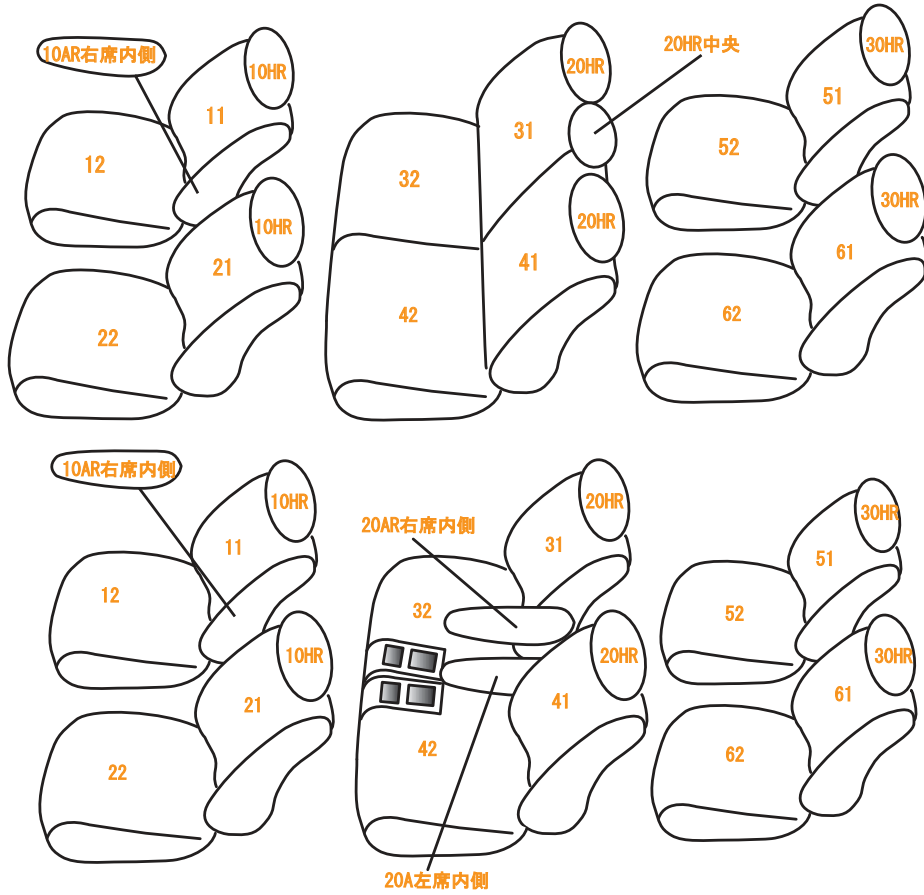
…> 05-24

シートカバーの装着方法

…> 25-26

アフターサービスと生地別メンテナンス方法

## 本製品シート形状とパーツの名称



## 取付必要工具



- ① ソケットレンチセット (14mm)
- ② クラッツィオ 専用 ヘラ (付属)

この商品では上記の工具を使用します

## シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。  
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。

## 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応の縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。  
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

## 本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところに放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1～2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自治体の処理方法に従ってください。

## シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバー(スエードタイプ・本革パンチングタイプ・ECTクラツィオ・アルカンターラセクション)の背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は生地が伸びにくいいため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされると、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輻への損傷、車輻の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取り付けを行ってください。  
またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**

# Step 1

## …> 1 列目座面の装着方法

本説明書は、6人乗り・7人乗り、またシートヒーターやサイドエアバッグのオプション装着車などとも共通で説明を行っています。



- 1 始めにシート背面下からシート裏にゴムで固定されている生地を、図のように外します。



- 2 カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい位置で行って下さい。図の矢印部分、シートの軸辺りは隙間が大変狭くなっています。シートを後ろへ倒した状態で生地を入れ込み、その状態から前にシートをリクライニングさせると生地が奥へ入っていきます。



- 4 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。図のようにカバーはシートヒーター装備車・サイドエアバッグ装備車にも対応できるようにカバーに切れ込みを入れてあります。該当する車両は配線部分をかわして生地を引き出して下さい。



- 5 シートのラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



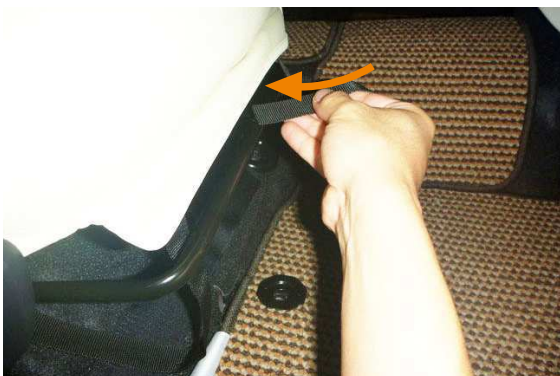
- 6 カバー両側面の生地を、シートとプラスチック部との隙間に入れ込みます。



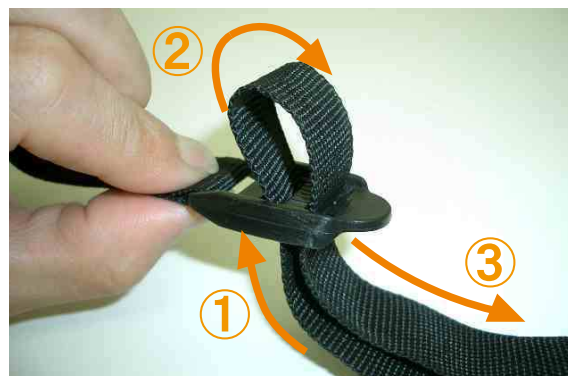
**7** シートの付け根部分は隙間が狭くなっています。ヘラなどでリクライニングレバー側へ向けて入れ込むようにすると、生地が綺麗に収まります。



**10** 引き出したベルトを5ページ4番で引き出した生地に付いているバックルに通して固定します。



**8** カバー前側についているベルトをスライドレバーの上を通して、シート背面へ入れ込みます。ベルトはシート裏の金属バーなどの上を通すようにして下さい。



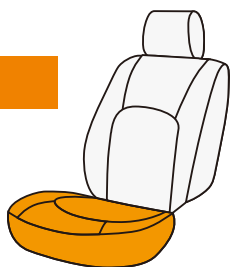
**11** ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。ベルトは強く引きすぎると、縫製糸が切れてベルトが抜けてしまいます。ご注意下さい。



**9** シートの背面から入れ込んだベルトを引き出します。



**12** 5ページ4番で引き出した生地に付いているゴムを、シート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。



## Step 2

# 1列目背もたれの装着方法

※背もたれカバーにファスナーが付いているパーツは、ビニールを使用しなくてもスムーズに装着出来ます。  
ヘッドレスト用のビニールも付属しているので参考にして下さい。



- 13** 6ページ12番のゴムを、シート裏の金属部分に図のように引っ掛けて固定します。



- 14** シート背面の生地は図のようになります。生地が図のようにたるみがあるようになりますが、背もたれカバーを装着すると、こちらの部分はカバーの中へ隠れます。  
※10ページ16番参照



- 15** カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。  
助手席も同様に取り付けます。

## Point

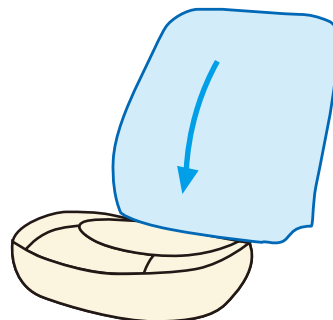


### 付属のシートカバー 取付補助ビニールの使用方法

背もたれ部分のシートカバーを装着する際、付属のビニールを使用するとシート本体とシートカバーの摩擦を軽減しスムーズに作業ができます。

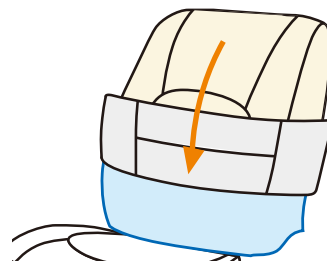
※ベーシックシリーズには取付補助ビニールは付属していません

①



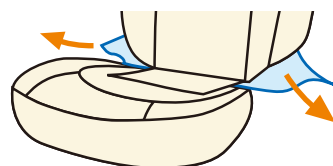
背もたれ部分のシートカバーを装着する前に、付属のビニールを被せます。この際、後で補助ビニールを引っ張り出しやすいように、カッターで両サイドに切り込みを入れておきます。

②



背もたれのシートカバーをシートラインに合わせてながら被せます。

③



シートカバーをしっかりと被せることが出来たら、ビニールを引っ張り取り外します。



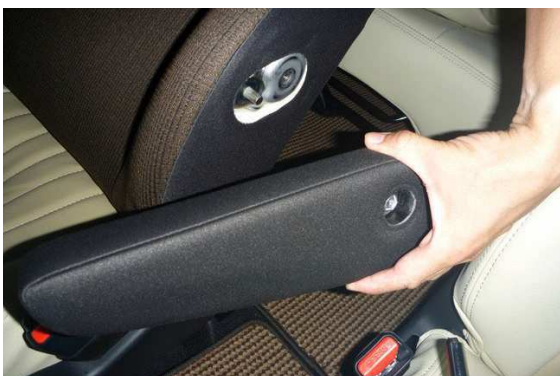
アームレスト装備車はアームレストを外してカバーの装着を行います。



- 1** アームレスト装備車はアームレストを外してカバーの装着を行います。始めにヘラなどを使用して、アームレストの軸部分に付いている黒のキャップを外します。



- 2** ソケットレンチなどを使用してボルトを外します。(ソケット14mm)



- 3** ボルトを外すと、図のようにアームレストが外れます。



- 4** カバー側面のファスナーを開いた状態で、シートのラインに合わせてかぶせます。



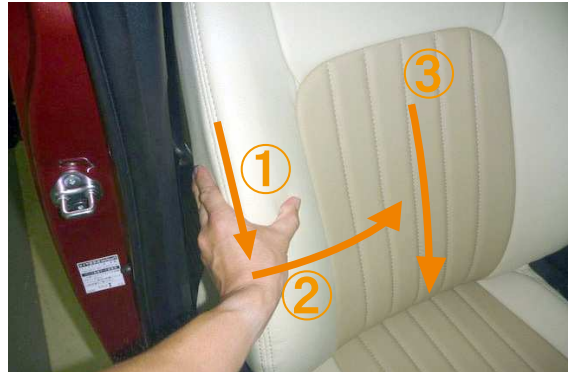
- 5** ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。まず台座の片側のフチに、生地をしっかりと入れ込みます。



- 6** 生地伸びを利用して、ヘッドレストの台座を取り出します。



**7** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい位置で行ってください。



**10** カバー側面の生地を、図の①~③の順番でシートに密着させるようにして、シワをなくしていきます。側面の生地がしっかりと張るまで繰り返して行って下さい。



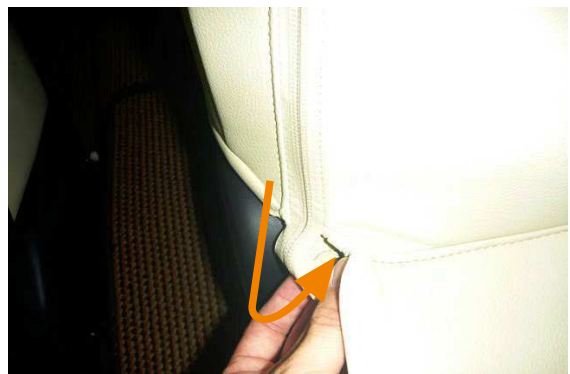
**8** 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。図のようにカバーはシートヒーター装備車・サイドエアバッグ装備車にも対応できるようにカバーに切れ込みを入れてあります。該当する車両は配線部分をかわして生地を引き出して下さい。



**11** カバー側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



**9** 5ページ1番で外した生地をめくり上げてカバーの中へ入れ込みます。



**12** ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 13** 9ページ8番で引き出した生地と、カバー背面下の生地をマジックテープで固定します。シートヒーターやサイドエアバッグ装備車は、配線部分に注意して作業を行ってください。



- 16** カバー背面下は図のようになります。



- 14** カバー背面下に付いているゴムに付属の金属フックを取り付けます。



- 17** カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。



- 15** 金属フックはシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。

## Step 3

## …> 2列目座面の装着方法

こちらでは主に6人乗りのシート画像を使用していますが、7人乗りの車両も一緒に確認下さい。



- 1** シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 4** 6人乗りの車両は図のボックス部分のフチに生地を入れ込みます。先端の角の部分からしっかりと生地を入れ込み、シートに馴染ませながら全体へ入れ込んでいきます。



- 2** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 5** ある程度生地が入り込んだら、ヘラなどを使用してボックスのフチ周りの生地にシワなどが残らないように、生地を整えます。



- 3** 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



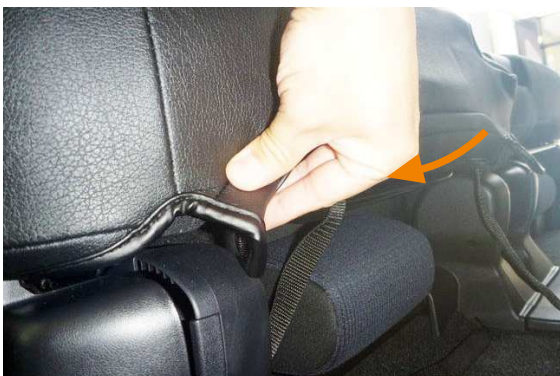
- 6** カバー外側面の生地についているマジックテープを、側面の生地を馴染ませながら、直接シート裏のシート地に貼り付けて固定します。



**7** シート外側の付け根部分のフチに生地を入れ込み固定します。



**10** シート内側の付け根部分です。カバーの端の生地裏にフックが付いています。フックをシートのフチに引っ掛けて固定します。図の矢印側を先端に、フックと共に生地を折り返します。



**8** カバーの前側についているベルトを、スライドレバーの上を通してシートの背面へ入れ込みます。



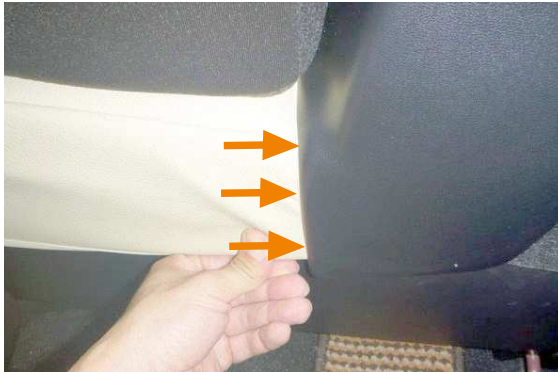
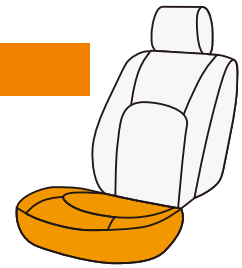
**11** フックの先端を入れ込んだ状態です。この状態からシートのフチに、フックを下から上へ引っ掛けるように固定します



**9** シートをタンブルさせた状態です。入れ込んだベルトを11ページ3番で引き出した生地が付いているバックルに通して固定します。図の矢印位置にマジックテープが付いています。全てシート地に直接貼り付けて固定します。



**12** フックを完全に固定した状態です。表側からはフックが見えない状態になります。フックをシートのフチにしっかりと固定できるように、矢印の方向へしっかりと押し込んで下さい。



- 13** 12ページ12番で固定したフックを、図のようにシートのフチをスライドさせるようようにして、プラスチックカバー側へ入れ込みます。14番の説明をよく確認して下さい。



- 16** シートベルトバックルのフチに生地を入れ込みます。バックルが取り出し辛い場合は図のようにシートベルトを固定し、その状態で生地を入れ込むと作業が行いやすくなります。



- 14** 2列目は助手席側との隙間がほとんどないため、シート可動時などに固定に使用したフック部で反対側のカバーに傷を付ける恐れがあります。それを防ぐためにも13番の作業が重要になります。摩擦でカバーがずれた際などにも手直しをお願いします。



- 17** カバーのラインを整えて、6人乗り2列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。



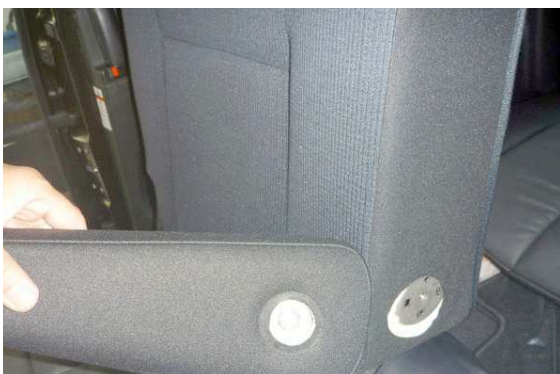
- 15** 6人乗りの内側面の図です。



- 18** 7人乗り2列目運転席側座面の完成です。ボックス部分以外は6人乗りと同様に取り付けます。助手席側も同様に取り付けます。

## Step 4

## …→ 2列目背もたれの装着方法



- 1** 6人乗りの車はアームレストを外してカバーの装着を行います。  
アームレストの外し方は8ページの**1番**から**3番**を参照して下さい。



- 4** 7人乗りの助手席側は中央のヘッドレストの台座も同様に取り出します。



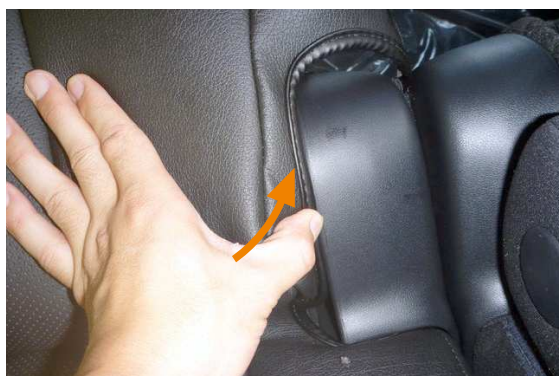
- 2** カバー内側面のファスナーを開いた状態でシートのラインに合わせてかぶせます。



- 5** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 3** ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。



- 6** シートの側面下部分にもシートに沿わせて生地を入れ込みます。



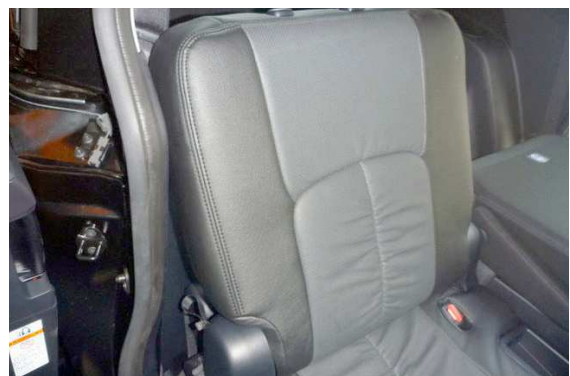
**7** 14ページ5番で入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



**10** 7番で引き出した生地とカバー背面下の生地をマジックテープで固定します。



**8** 生地を引き出した後、シート表面の生地が図のように内に寄っている場合は14ページ6番の作業をやり直して下さい。



**11** カバーのラインを整えて、6人乗り運転席側背もたれの完成です。



**9** カバー内側の生地を内へ寄せながら、慎重にファスナーを閉じます。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



**12** カバーのラインを整えて、7人乗り運転席側背もたれの完成です。



## Step 5

## …→ 3列目座面の装着方法



- 1** シートのラインに合わせてカバーを前側から全体にかぶせます。



金属部分に巻き付けて折り返し先端を貼り付けて固定する

- 4** シートを跳ね上げた状態にします。カバー側面に付いているマジックテープのベルトを、シート裏の金属部分に巻き付けて折り返し固定します。



- 2** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 5** カバー前後のベルトを固定します。3番で引き出した生地の上に付いているマジックテープを、直接シート地に貼り付けて固定します。



- 3** 入れ込んだ生地をシート背面から引き出して、図のシートの固定を解除するベルトをカバーの加工穴から取り出します。



- 6** カバーのラインを整えて、3列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様にに取り付けます。

## Step 6

## …> 3列目背もたれの装着方法



**1** カバー外側面のファスナーを開いて、カバーをかぶせます。図のリクライニングレバーをカバーの加工穴に通します。



**4** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



**2** シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます



**5** 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



**3** ヘッドレストの台座、リクライニングレバー一部をカバーの加工穴から取り出します。



**6** カバー外側面の生地を内へ寄せながら、ファスナーを慎重に閉じます。



**7** ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



**10** カバーのラインを整えて、3列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。



**8** 17ページ5番で引き出した生地を、シートを格納する際などに使用するベルトをかわして、カバー背面下とマジックテープで固定します。



**9** 17ページ5番で引き出した生地の内側にマジックテープが付いています。マジックテープを直接シート地に貼り付けて固定します。

## Step 7

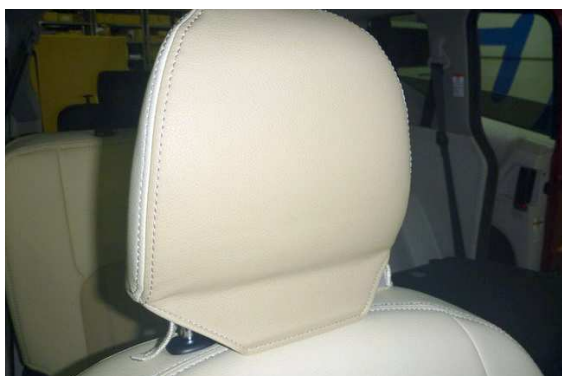
## …→ ヘッドレストの装着方法



- 1** 1列目ヘッドレストです。  
カバーを図のように裏返してヘッドレストの先端までしっかりとかぶせます。カバーは板状のプラスチックが付いている方が前です。



- 4** プラフックの固定方法は、カギ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 2** ヘッドレストのラインに合わせて、左右均等にカバーを引き下げてヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



- 5** ヘッドレスト裏は図のようになります。



- 3** ヘッドレストをシートから外して、ヘッドレスト裏でプラフックを固定します。



- 6** ヘッドレストをシートに戻します。カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



**7** 2列目ヘッドレストです。ヘッドレストの先端からカバーを下から上へ持ち上げるようにしてかぶせます。先端部分の生地がしっかり張るようにかぶせて全体にかぶせていくようにして下さい。



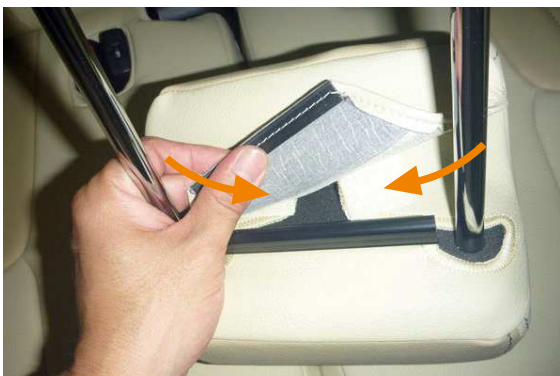
**10** 1列目ヘッドレスト同様にプルフックを固定します。ヘッドレスト裏は図のようになります。



**8** ヘッドレストのラインに合わせて、カバーを全体にかぶせます。



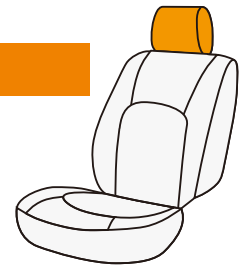
**11** 7人乗り、2列目中央ヘッドレストです。ヘッドレストの側面からカバーをかぶせます。片側のフチにカバーを引っ掛けるようにかぶせて、そこを基点にヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



**9** ヘッドレストをシートから外してヘッドレスト裏の生地を内へ寄せながらマジックテープで固定します。



**12** ヘッドレストのラインに合わせて、カバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



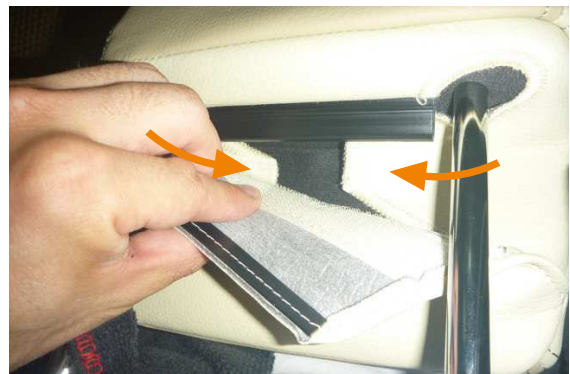
- 7** 2列目中央ヘッドレストは、ヘッドレスト裏でカバーの両端に付いているマジックテープ同士を、生地を内へ寄せ合い固定します。  
※図は別車種のものを使用しています。



- 10** 3列目ヘッドレストです。ヘッドレストの先端からカバーを下から上へ持ち上げるようにしてかぶせます。先端部分の生地がしっかり張るようにかぶせて全体にかぶせていくようにして下さい。



- 8** 2列目中央ヘッドレストはフック側が2箇所に分かれています。2箇所ともフックを引っ掛けて固定します。



- 11** 2列目ヘッドレスト同様に、ヘッドレスト裏でマジックテープとプラフックで固定します。



- 9** カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。



- 12** カバーのラインを整えて、3列目ヘッドレストの完成です。

## Step 8

## …→ アームレストの装着方法



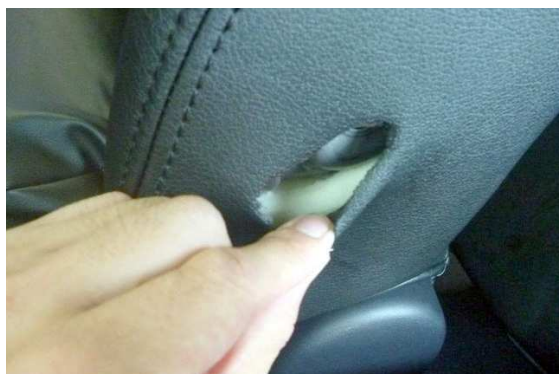
- 1** 1列目アームレスト装備車は、背もたれカバーに穴開け加工が必要です。背もたれカバーが正常に装着できていることを確認します。カバーに穴明け加工した後は、カバーをずらしたりすることができなくなるのでご注意ください。



- 2** 生地表面からアームレストの軸部分を触り、丸く突起した部分と、ボルトを固定していた穴の部分を確認します。確認ができたらその位置にペンなどで印を付けます。



- 3** 2番で印を付けた部分をつなぐように、カッターやハサミを使い図のように生地を切り取ります。この際シートを傷付けたりしないようにご注意ください。



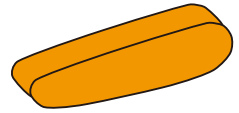
- 4** 3番で開けた穴から内側を見て、シート表皮の穴と同様の大きさまで生地を切り取ります。3番の穴の状態ではアームレストの可動時に強い生地同士の摩擦が生じます。必ず行って下さい。



- 5** 図のように生地を切り取ります。いきなり大きく開けようとせず、最小は少し小さめに穴を開けて、徐々に広げるようにすると切り過ぎることがなくなります。



- 6** アームレストを元に戻します。キャップの付け忘れにご注意下さい。



- 7** アームレストをシートに戻した状態でカバーの装着を行います。アームレスト先端までしっかりとカバーを入れ込み、アームレストのラインに合わせて全体にカバーをかぶせます。



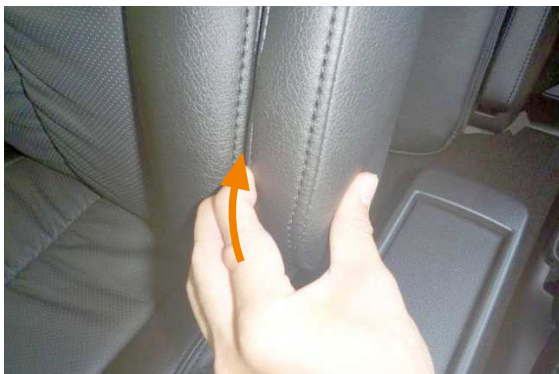
- 10** カバーのラインを整えて、1列目アームレストの完成です。



- 8** アームレストの軸部分に生地を引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 11** 6人乗り・2列目アームレストも形状は異なりますが、同様に取り付けます。



- 9** アームレストを立てて反対側の軸部分にも生地をしっかりと入れ込みます。



# 完成図



1列目



3列目



7人乗り・2列目



1列目背面



6人乗り・2列目



3列目を2列目下に格納した状態



## After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

### ● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

クラッツィオ キルティングタイプ・プロス クラッツィオ  
プロスクラッツィオ タイプ2は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。

(巾135cm・メートル単位での販売となります)  
クラッツィオ キルティングタイプは対象外です。



パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**

## …→ 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

### アルカンターラ・スエード

#### ● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケツブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

#### ● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケツブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



### 本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やさしい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

#### ⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまう。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



### PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



[www.11i.co.jp](http://www.11i.co.jp)

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816